

新年あけましておめでとうございます



いただいた医療を行なっていくかなければならないと思っております。暦は一周しましたので、原点回帰ということで改めて、「私たちの誓い(基本理念)」である「愛のところで医療に奉仕を」「和のところで総力一致を」「励むところで創意工夫を」という言葉に改めて思いを大切に、さらに今年は飛躍できる年にしたいと願っています。」と年頭のあいさつがありました。

職員一同、一層精進し、本年も病院を訪れる全ての方に満足していただけるよう、誠心誠意医療を全うしていきたいと思っております。

本年もどうぞご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新しい年を迎え、日ごろご指導いただいております皆様、心より感謝申し上げます。

当院は本年、60周年の節目の年を迎えます。地域に必要とされる機能、体制をしっかりと維持しつつ、スタッフ一同力を合わせ、精神科医療に邁進してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、1月4日(月)診療開始日には、職員約80名を集め、新年互礼会を行いました。

理事長より「新年あけましておめでとうございます。60年という大きな節目を迎え、さらに訪れる全ての方に満足していただきます。」と挨拶されました。

基本方針

人権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定



まんりょう 万両

- 万両の花は7~8月頃に咲き、12月頃から冬にかけて実が赤くなる。万両のなかには実が白い種類もある。
- 縁起物に使われる。
- 千両は葉の上の方に実をつけるので鳥に食べられやすく、万両は葉の下に実をつけるので食べられにくい。そのため実がしっかり残り、量の違いを千と万というように区別した。しかし千両とは科目が違う。

お正月の頃に見かけるので、お正月の花に用いられる。寒い時期に貴重な赤い実は縁起物として、また活けても長持ちするので印象に残っているのでしょうか。玄関先などによく見

かける万両や千両の赤を、生活の中で探してみたいかたがたでしょうか。赤は生命力がある色とも言われています。年始めに赤色を身に付けて運氣アップ!今年もいい年でありませうように。

「泉ヶ丘グリーンフェスタ2016」に参加します

今年も3月20日(日)、泉ヶ丘駅前地域で開催されるグリーンフェスタに参加します。今回も泉北ニュータウン再生府市連携協議会よりご依頼いただきました。

この催しは、泉ヶ丘駅前地域の花と緑豊かな環境づくりを進めるきっかけづくりと、泉ヶ丘駅前地域のにぎわい創出のために開催しているもので、今年で4回目を迎えます。当日は、花と緑、エコと親しみやすい体験ブースやショーがたくさん行われます。

例年、当院からはグリーンフェスタにちなみ、庭園療法の紹介を主に行っています。昨年はリラックスできるハーブとして、十数種類のハーブを持参し、気に入った匂いをもって帰っていただきました。眠りに効果のあるハーブやリラックス効果のあるハーブなど、それぞれの悩みも一緒に近隣の方といろいろとお話しさせていただきました。今年もどうぞお越しください。

■外来診療表

外来診療時間/9:00~12:00(受付は11:30まで) 平成28年1月現在

	月	火	水	木	金	土
1 診	黒田	子安	作田	横田	黒田	横田
2 診		秋田	松島	橋元	横井	横井
3 診	松島	島本	植田	白銀	茶谷	植田
4 診	花房	大矢	濱田	戎	小林	安藤
5 診	佐野	山田	川村	宮里	秋田	
6 診	福田晋	土井	正路	永松	土井	宮里
7 診	山本	久保	小深田	橋本	作田	小深田
8 診		荒川	西村	河野	奥田	
9 診	熊取谷	柏木	後藤	大浦	長谷川	熊取谷
診(心1)		清水	中井	山下		

*医師の急な都合により、変更・休診となることがございますので、予めご了承ください。
(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)



専門外来
(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です。
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。受診の前にお電話ください。
TEL.072-278-0381
FAX.072-281-6615

診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/小児科/放射線科/神経内科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 25床(D1病棟)
- 亜急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 111床(D2,E2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 51床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 救急病棟 10:1
看護師比率 70%以上・看護補助 30:1

関連施設紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあい・サテライト「浜寺石津」☎072-279-1631
- グループホーム青空・そよかぜ 堺市中区八田南之町277 阪南病院内 ☎072-278-0381
- グループホームあんの郷 堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい 堺市中区深井沢町3324 FUKAI ビル1F ☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768

堺市発達障害者支援センターアプリコット堺 公開講座

「家族だって仲間が欲しい!」～発達障害、家族ができること～



アプリコット堺 宮井 潤一

11月29日(日)、堺市立西文化会館ウエスティにて、公開講座「家族だって仲間が欲しい!～発達障害、家族ができること～」を開催しました。当日は晴天にも恵まれ、当事者、ご家族、支援者、一般市民の方々など、87名のご参加がありました。

第一部は、発達障害者(児)及び支援団体のご紹介で、さかいハッタツ友の会から家族代表として西川加奈氏、大阪LD・軽度発達障害親の会「翼」の吉田京子氏、

チャレンジクラブの宮原由美氏、大阪自閉症協会の太田勝己氏がそれぞれの団体につながった経緯を交えながら、どのような取り組みを行っているかをご説明くださいました。「自分だけではない」「1人で悩まない」「パワーをもらった」「仲間が出来る」といったことが共通して語られており、つながる大切さを再認識しました。

第二部では、一部に引き続き、西川氏、吉田氏、宮原氏、太田氏にアプリコット堺も加わり、事前に頂いた質問から「ライフステージ別の関わり」や「学校との連携」について座談会形式で語って戴きました。「発達障害の知識を持つこと」「本人と親の困りごとにはそれぞれ違いがあること」「状況の変化に一喜一憂しないこと」など家族としての葛藤を率直にお話し戴きました。また親自身が元気であること、1人だと思い孤立してしまうことが危険であると語られていたことが印象的でした。状況によって支えられる立場から、支える立場にもなれることが家族会の強みだと思いました。

アンケートでは、「自分の本心を話せる場所は必要だと感じた」「同じ立場の方のお話を聞くだけでホッとする一時でした」「話を聞いて元気をもらいました」「親の会に参加してみようと思いました」「親の会、支援組織、当事者の家族、本人、各視点での実体験に基づいた生きたお話が聞けて本当によかった」「周りの支援をうまく利用して自立していきたいと思いました」「支援されている方々も多く、環境も整いつつあることに安心しました」といった声が寄せられました。

今後も発達障害理解の促進のため、当事者やそのご家族の声を届けていくための啓発活動を行っていきたくと考えています。その際はぜひ足を運んで頂ければと思います。よろしくお願いたします。

今年はどうなる年?

干支というと、「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」という十二支と「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の十干の組合せで毎年決められます。

十二支は動物の名前、十干は五行(木・火・土・金・水)の意味をもちます。この12支と10干の組合せですから、60種類あります。そのため60年で暦がめぐるため、「還暦」と言われています。

さて、2016年の「干支」(えと)はというと「丙申(ひのえさる)」丙は火を意味し、古来の意味は「かまどの火のもえるさま」と表し、激しさや熱を意味します。

一方、「申」は「伸びる」が語源。「屈伸する体」つまり「その身が軽快に動き、いかにも伸び伸びとした感じ」から「猿」を重ねたといわれています。

この二つを合わせると「物事が大きく進歩発展し、成熟する年」になるようです。

私たちが暦にならって、良い年にしましょう。



 当院は敷地内完全禁煙です

医療機関紹介 renkei bookmark

医療法人 紀和会 正風病院

医療法人紀和会正風病院は、昭和57年に堺市北区北花田町に開設したケアミックス型の病院です。

病棟構成は、一般病棟、療養病棟、回復期リハビリテーション病棟で、一般内科及び整形外科診療を主として行ってきました。

平成26年4月からスポーツ整形外科の診療を開始し、手術、研究発表を積極的に行っています。

平成27年8月1日、介護老人保健施設アイリス堺正風(平成7年1月に新堀町に開設)とともに、堺市北区新金岡町に移転統合しました。

周辺医療機関と連携して、地域住民の医療と介護に取り組んでいきたいと考えています。

- 院長 塩崎 嘉樹
- 住所 〒591-0064 堺市北区新金岡町5丁1番3号
- 電話番号・HP 072-255-0051(代表)
http://kiwakai-sakai.or.jp

【医療福祉相談室】072-275-6132(直通)

- 最寄駅 大阪市営地下鉄御堂筋線
新金岡駅2号出口より徒歩5分 ※詳細はホームページをご覧ください。
- 診療科 内科、消化器科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、麻酔科



外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~11:30	○	○	○	○	○	○	—	—
午後 14:00~16:30	○	○	○	○	○	—	—	—

※年末年始(12月31日から1月3日)は休診

堺市健康福祉プラザ

プラザまつり



12月5日(土)堺市発達障害者支援センター「アプリコット堺」のある、堺市健康福祉プラザで行われたプラザまつりへ参加しました。プラザまつりはプラザ内事業所主催の様々なイベントが2日間にわたり開催されます。アプリコット堺が昨年春から稼働しているため、私たちの参加は2回目。昨年に続き、5日(土)のみ庭園療法の紹介も兼ね、来られた方とクリスマスの小物づくりを楽しみました。また、大研修室では、「見えない障害を伝えたい」というタイトルでパネルディスカッションや講演会が行われ、多くの方が越しになっていました。

私たちは玄関ホール中央にスペースをいただき、人気のおい袋、シールアートなど行いました。クリスマスらしい柄と赤、緑、白といったクリスマスカラーで用意し準備万端。11月のイベントで余った容器にローズマリー水も作ってお土産にし、喜んでいただきました。ローズマリーなどグリーンガーデンから摘んだハーブも持参したので、通りすがりの方がいい香りとお話を止めてくださることもありました。リクライニングの車いすの方や、サポートの方に手を引いてもらってこられる方もいて、スペースをとるのに工夫が必要でしたが、皆さん楽しんでいただきました。

におい袋は160、シールアートはクリアファイル約100枚がなくなり、子どもたちに持参した風船も大人気でした。子どもさんも、そしてお母さん、お父さんも笑顔いっぱい、賑やかで明るいプラザまつりでした。(総務課 小田 真由美)